※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育Ｂ	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	現代　高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人間の本能でもある「動く楽しさ」に「分かる楽しさ（思考判断・知識理解）」「できる楽しさ（運動技能）」「仲間と関わる楽しさ（関心意欲態度）」が加わることで、運動の楽しさや喜びはさらに膨らみます。

運動を科学的に理解し実践することにより、その楽しさを十分に味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする意欲を持ちましょう。そして、生徒諸君が生涯にわたり運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現できるように、その為の基礎を作るのが「体育」の授業です。

２　学習の到達目標

①生涯に渡ってスポーツの楽しさを享受する能力を高め、自己のライフステージや心身の状態に適したスポーツを生活に取り入れ、豊かなライフスタイルを形成できる能力を身に付ける。

②自己の健康・体力に関する認識を深め、健康・体力づくりの為の運動方法を理解し、生涯に渡って自主的に健康・体力づくりを実践する能力や態度を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、健康や安全を確保して練習に取り組もうとする。結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断し、公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	生涯にわたるスポーツライフの実現を目指し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。体力や技能を向上するための計画を考えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や自己に適した技を高めることができるようにする。	運動の技術名称や体力の高め方、課題解決方法などのスポーツを行う際の安全確保について具体的方法を理解している。
評価方法	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題	・実技テスト ・授業での動き ・プリント学習	・実技テスト ・授業での動き ・プリント学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	球技	オリエンテーション バドミントン 体育理論	○	○	○	○ ○	a:協力して用具準備や片付けを行なったり、フェアプレイを大切にしている b:個々の状況・課題に応じて運動の取り組み方を工夫している c:状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開している d:攻防を展開するための状況に応じた個人技術を段階的に習得する。審判の方法やゲームの進め方について理解している。	・受講態度の観察 ・理解度テスト ・技能の観察 ・スキルテスト
	球技	卓球	○		○		a: 協力して用具準備や片付けを行なったり、フェアプレイを大切にしている b:個々の状況・課題に応じて運動の取り組み方を工夫している c: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開している。 d: 攻防を展開するための状況に応じた個人技術を段階位的に習得する。審判の方法やゲームの進め方について理解している。	・受講態度の観察 ・理解度テスト ・技能の観察 ・スキルテスト
	球技	テニス	○	○		○	a: 協力して用具準備や片付けを行なったり、フェアプレイを大切にしている b: 個々の状況・課題に応じて運動の取り組み方を工夫している c: 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開している d: 攻防を展開するための状況に応じた個人技術を段階的に習得する。審判の方法やゲームの進め方について理解している。	・受講態度の観察 ・理解度テスト ・技能の観察 ・スキルテスト
後期	器械運動	マット運動	○	○	○		a:主体的に取り組むと共に、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができている b:自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫することができている c:回転系や功技系の基本的な技や条件を変えた技、発展技を滑らかに行い、それらを構成し演技することができている d: 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解している	・受講態度の観察 ・理解度テスト ・技能の観察 ・スキルテスト
	水泳	水泳(クロール・平泳ぎ)	○		○	○	a:主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にできている。 b:自己や仲間に応じた練習計画の立て方や競泳の仕方など運動を継続できるようにするための取り組み方を工夫することができている c:手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで永く泳いだり早く泳いだりできている。 d:技術の名称や行い方、体力の高め方、課題に応じた運動を継続するための取り組み方も工夫できている	・受講態度の観察 ・理解度テスト ・技能の観察 ・スキルテスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。